

+幸せを探すあなたへ

人生の幸せを味わう お茶一杯のよゆう

条件が満たされれば幸せでしょうか 昔には、しばしば人生のすべての問題が食べて生きる問題から始まると考えて、それを認めてきました。ところで以前よりはるかによく食べて、たくさん学び良く暮らす



主要国幸福指数 英国シンクタンク新経済学財団(NEF)	
1位	バヌアツ
2位	コロンビア
3位	コスタリカ
4位	ドミニカ
5位	パナマ
31位	中国
66位	イタリア
95位	日本
102位	韓国
108位	イギリス
129位	フランス
150位	アメリカ
172位	ロシア
178位	ジンバブエ

ず現在でも、問題は相変わらず散在していて、むしろ、さらに多くの問題の中で、人々はより一層、悪くなって、住みにくくなるのを見れば、この世の問題は単純に衣食住の問題だけではないことが明らかになるようです。

少し前、英国のシンクタンクである新経済学財団(NEF)で発表した、国別幸福指数(HPI、Happy Planet Index)を見れば、韓国は178ヶ国で102位、アメリカは150位、日本は95位を占めていたが、1位は人口20万人で1人当り国民所得

3千ドルである南太平洋のバヌアツという国が占めました。誰でもみな認める、よく暮らす国の人々より、さらに幸せだと感じるということが、本当にアイロニーに違いありません。初めには、とても持っているものがなくて無知なことではないかと思いますが、静かに考えてみれば、そうかもしれないという気がしてきます。民主主義が最高に発達して、科学と文化と福祉がとてもよくそろった国の人々には幸せがなく、自殺やうつ病、麻薬や精神病などで苦しめられる比率がむしろ高いのを見ても知るこ

ができるように、人間の幸せや満足の基準は、決して物質的なことや、環境的なものでも、どんな社会のシステムによっても説明できません。

真の人間の幸せの開始 人間について心理学や人文学のような学問でみな説明できないことを、聖書ではとても重要に語っています。魚は水の中で生きて、木は根を地面におろして生きていくのが当然の原理のように、人間は神様とともにいてこそ、幸せな霊的な存在で創造されたということです。霊的であることを取り除いて人間を肉体的で精神的な存在でだけ見れば、答えが出てこない部分が多いことも、このためです。それで、最近、医学分野では、病気と健康を説明するのに、科学的に証明することは難しいので、明らかに人間を構成する部分に、精神的なもの以上の何か霊的な部分があるということを認める傾向にあります。そのような霊的存在である人間が、神様を離れてから、すべての問題が始まって、呪いと災いと苦しみが入ってきましたが、この問題はどんな人間の努力や方法でも解決することができず、むしろ解決しようとするほど、もっと深刻になると明らかにしています。なぜなら、その背後には目に見えないけれど、実際に存在して働いているサタン、悪魔、悪霊という悪い存在がいるからです。神様を離れて、私も知らない間に罪と死とサタンの権威の下に置かれた人間は、自らの力ではサタンがもたらす生年月日による運勢、運命から抜け出すことができないから、神様はこの問題を解決するキリストであるイエス様をこの世に送って、十字架で死んで復活されることによって、根源的なすべての問題をみな解決してくださいました。これを聖書は福音だと語っています。私の人生問題を解決するイエス・キリストが必要だと、信仰で私の心にお迎えする時、神様の子どもになる救いの祝福を味わうようになります。人間の真の幸せの開始、救いの恵みが、今、あなたに臨むようになることをお祈りします。

何事かを自分のしたことと考える資格が私たち自身にあるというわけではありません。私たちの資格は神からのものです。(コリント3:5)

長老伝道企画時代

ボス Boss とリーダーLeader

二人の指導者のユーモア アメリカの南北戦争中、最も激しかったゲティスバーグの戦闘の時、リンカーンはミード將軍に攻撃命令を下して、手紙一通を送りました。「尊敬するミード將軍、この戦争が成功したら、それはすべてあなたの功勞です。しかし、もし失敗したら將軍はリンカーン大統領の命令だったと話さない。そして、この手紙をすべてに公開しなさい」功勞は下の人に渡して、責任は自分がとる姿勢をそそえたリンカーンの姿、これが死んでも自分の指導力を認めさせる理由ではないでしょうか。また、近頃、中国のネチズン(<http://eol.cn>)の間で、大きい人気を得ている北朝鮮指導者金正日(キム・ジョンイル)に対する7大ユーモアがあります。「北朝鮮の集団農場の農場園チョン・マニョン氏が川で大きい魚一匹をつかまえた。チョン氏は、嬉しい気持ちで家に戻って妻に話した。『これ見て。今日は魚の天ぷらを食べられるよ!』『油がないでしょう』『それでは辛い煮魚料理をしよう』『醤油がないわ!』『それでは焼こう』『燃料がないのに...』腹が立ったチョン氏は、すぐに川に行き行って魚を放してやった。魚は水で円を描きながら、ひと回りすると上体を水の外に差し出して右側のヒレを上にあげて興奮した声で大きく叫んだ。金正日(キム・ジョンイル)万歳!」指導者がどうであるかにしたがって、一つの国の運命が左右されたりもします。それほどまで、どんな伝道者なのか、どんな重職者かということにしたがって、現場と時代の未来が変わります。「私はボスですか、リーダーですか」ボスは「私」と話しますが、指導者は「私たち」と話します。ボスは部下を作りますが、指導者は弟子を作ります。ボスは後から号令しますが、指導者は前で導いてあげます。

神様と通じる重職者 神様が、この時代に立てた重職者は、私がいる現場を生かすリーダーです。私の周辺の人々、私がいる地域に伝道に対するスケジュールだけ抱いていても、神様の働きが始まるようになります。そして、重職者は私がいる現場のシステム(地教会)を活用して福音を証する証人です。その中で発見した弟子を探して、5人1組を構成して派遣する弟子キャンプのモデルです。キリストは私たちの真の指導者です。

「それから、彼を退けて、ダビデを立てて王とされましたが、このダビデについてあかしして、こう言われました。『わたしはエッサイの子ダビデを見いだした。彼はわたしの心になつた者で、わたしのこころを余すところなく実行する。』」(使徒 13:22)

神様の子どもになる
受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様の子どもの五つの確信

救いの確信: イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15~16、1ヨハネ 5:10~13)

祈り答えの確信: 神様の子どもはイエス・キリストのお名前前で何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)

導きの確信: 神様は聖霊であなたの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26~27、箴言 3:5~6)

救しの確信: あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さいます(1ヨハネ 1:9、ローマ 3:24)

勝利の確信: 救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ 8:31~37、1ヨハネ 5:4)



神様の子どもの毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタン勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

私の人生のホレブ山に立って...

質問が違うと解答も間違っています/ 私たちに広く知られている作家、



三浦綾子、彼女は結婚後、みすぼらしい小さい雑貨屋を開くようになりました。店についてのうさが遠くまで伝えられ、トラックで物を購入するほど好況を味わいました。しかし、彼女の店によって近くの店が閉店する状況になってしまったのです。夫が彼女に近所の店の廃業を心配した

ので、彼女は物の量と種類を減らして、物を探すお客さんがくれば、自分の店にはないが、向い側の店にはお探しの物があるので、そちらへ行ったらいと親切に案内しました。その後、どんどん彼女の収入は減ったのですが、むしろ生じた余裕の時間に、文章を書き始めたのです。そのようにして書かれた小説が、まさに有名な氷点であり、彼女は一気に全世界に影響を与える有名な作家として新しい人生の道が開かれる祝福を受けました。このように、問題をどのように見るかによって結果は完全に違います。何のために神様は強大国で囲まれたところにイスラエルを立てるようにされたのでしょうか。神様の前で質問してみれば、すぐ答えが出てきます。周辺にある強大国が、みな宣教の対象で、全部、世界へ行く高速道路だということです。神様が全能なのに、なぜ、初代教会に迫害を与えられたのでしょうか。福音はどんな問題にでも勝てるためです。それで福音にだけに戻れば、どんなことも解決できます。それで、私たちは当然しなければならぬことをするのです。そして、必ず必要なことをしなければなりません。それとともに、神様が願われる絶対的なことを見るのです。福音と伝道がまさにこういうことです。福音は、すべての人に当然、必然的、絶対的になければならぬ唯一の人生の解答です。

伝道弟子は必ず体験しなければならないものがあります/ 初代教会は十字架で死んで復活することによって人間のすべての問題を完全に解決されたキリスト、天と地のすべての権威を持って世の終わりの日まで常にもおられるキリストを体験しました。そして、使徒を通して、講壇からくださるみことばが成就する働きを体験しました。定刻祈りを通して個人が力を得て、常時祈りを通して現場が変化する働きを体験して、礼拝祈りを通して主の御使いが動員される天国の御座の祝福を味わうようになりました。また、3千人の弟子が起きて15ヶ国の伝道の門が開く聖霊の働きを体験しました。これは誰も防止できません。伝道者はこの体験を先にしなければなりません。

ですから、毎日、私の人生のホレブ山に登らなければなりません/ 神様は出エジプトしたイスラエル民族が荒野に行く、その忙しい中にホレブ山に上がれとおっしゃいました。それは、先に祈りの答えを受ける重要な恵みを回復して伝えるということです。そして、私のアイデンティティーを見つけなさいということです。神様は私と皆さんをサタンの権威から完全に救い出してくださいました。そのアイデンティティーを見つけなければなりません。そして、神様が約束されたみことばの証拠を握らなければなりません。この時、聖霊が働かれます。私たちは、これ以上、シナイ山で留まらずに、全てのものをみな終わらせたカルバリ山に行かなければなりません。一度しか生きない人生なのに、世界福音化を置いて最も重要な人生と学業、事業に対する決断を下さなければなりません。全く難しくありません。神様の子どもは、神様が与えてくださった身分と権威を持って祈るだけで良いのです。これから悩まずに、聖霊の導きを受けようと悩めば、無条件に働きは起きるようになっていきます。今日、小さい一日ですが、大きな祝福の日に、とても具体的な祝福を受ける貴重な日になることをイエス様の御名でお祈りします。

説教_柳光洙牧師, 整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

29日(月)

救われた私はだれなのか (イコリト 3:16~23)

神様の最高の関心は救われた人です。私たちがいくら足りなくて弱くても、救われた人は聖霊がともにおられます。神様の子どもは罪と死の原理から永遠に解放されて、敵のサタンに勝てる新しい身分と権威を持っています。

30日(火)

私がいる所がまさに宣教地です

(使徒 18:1~4)

今、私たちがしていることとその場所に、神様の驚くべき祝福が準備されています。それで、私が先に恵みを受けて、伝道のスケジュールを持って自分自身を管理しながら、インマヌエルを味わってれば、私の現場、私の家庭に驚くべきみわざが起きるようになります。

1日(水)

何からはじめましょうか (ヨハネ 1:2)

人生の最も重要な問題は、サタンにだまされて神様を離れた原罪の問題です。それで、神様はキリストを送って、信じる者に神様の子どもになる権威をくださいました。この時から、聖霊の内住、聖霊の導き、聖霊の満たしの働きを通して世界を生かす祝福を味わうようになります。

2日(木)

神様の方法 (使徒 1:8)

キリストを告白する瞬間、聖霊の内住、聖霊の導き、聖霊の満たしを味わうようになります。この時、私の限界、現場の限界、条件の限界、無能の限界を越えて、神様の力で人を生かすようになります。

3日(金)

霊的な頂上に上がりなさい! (詩 23:1)

霊的な頂上を上げる道は、先に福音の目ですべてのことをながめて、祈りを通して霊的な力を得なければなりません。そして、福音エリートとしての習慣と体質をそろえて福音を味わえば、人生を変えて運命を変える大きい力を得るようになります。

4日(土)

人生の絵を描きなさい! (イサムエル 16:13)

神様は世界福音化のために私を21世紀の主役として呼んでくださいました。この奥義を持って契約の未来をながめながら、人生の絵を描かなければなりません。すべての過去は土台です。今日は世界宣教と世界文化を征服する答えの日です。

週間メッセージ

産業宣教 | 簡単なことを逃した世界の教会の重職者・産業人(使 2:41-42)

伝道学 | 幼い時の体験(詩 78:70-72)

核心訓練 | 伝道者がしなければならぬ体験(使 2:1-13)

聖日1部 | シナイの山に登ったイスラエル民族(出 19:1-6)

聖日2部 | 律法から解放されて新しいものへ(ローマ 7:1-6)

たばこ 貸してください



イラスト_ユン・スルギ

外国から来られた方と会うことを約束したが、連絡がまったくできないのだ。電話機がないためだと分かっているが、携帯電話が皮膚のようについていいる今日の韓国の現実で見る時、彼に会うまで短い時間だったが、苦しかったことは事実だ。その方に会った後、韓国は外国とは違って、個人的な要求がある時、お願いするのがそんなに失礼ではないから「緊急な連絡のために必要だから、携帯電話をちょっと貸してください」と言ったらよいと話した。しかし、これは事実、失礼になる無理な要求だ。それでも、私たちの経験上、私たちは借りる習慣を持っていて、それをひそかに思う。この頃は、喫煙環境があまり良なくて、愛煙家の立つ場所が狭くなっているけれど、以前には、どこでもいつでもタバコを吸って、それが一つの自由の粹だと見られる時があった。普通の人々がタバコを吸う時、隣に「タバコを貸してください」と言うことは、一つのあいさつと同じ表現だ。返すために借りるのではなく、自分の要求のための必要を求めることで、私たちはそれをそれほど深く考えないので、あげる人も、もらう人も大きい意味がない。ただし、本人が持っていないのを相手に要求することなので、貸してくださいという用

語を常用語で使うだけだ。

人間関係において、韓国は特有の情文化があって、個人主義では味わいにくい共同体的意識が可能なので、気楽に借りてくれと言って、簡単に貸してあげたりもする。農耕社会では、その限界が単純なので容易なことだったが、今は高度な産業、情報社会なので、そのような借りは美德でなく悪徳として席を占めていきつつある。しかし、まだ意識のある面では、こういう借りることが普遍化していることは事実だ。

私たちの人生は100年くらいの時間を造り主に借りて使っている。借りた時間が長いので、借りたのか借りなかったかもわからないままで、私たちはそれぞれ勤勉に各自の人生を生きていく。しかし、人生を返す時間が誰にでも必ずやってくる。本来、人間は最高の祝福を持った存在なのに、サタンにだまされて奪われたので、神様は人生に時間を貸して、人間が霊である神様に会える機会を与えて回復しなさいと言われるのだ。創造主は、人生に自由する時間を貸されて、その期間に本当に味わわなければならない価値を救いの中に置かれた。その時間を宝探しするように見つけた人は、その時間から永遠までの時間を自由に味わうようになるが、救いを見つけれない人は、人生を返却するその日から本来の問題の中で永遠な苦しみを避けることができなくなる。私の人生の自由な時間が私のことでなく、借りているという気がする時、いよいよ人生の分別がつくのだ。借りたタバコは返さないでくれてもかまわなくて、借りた携帯電話は感謝ですと話せば良いが、借りた人生は必ず救いという門を通るだけで返せる。それなら、人生を借りたあなたに今日の時間は救いに向かって開かれた借金を返せる恵みの時間であるので、お祝いする。

文_チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまで連絡してください